

## 第4号議案 2011年度事業計画（案）承認の件

2011年度活動方針 「3. 11以降のJAIPAとインターネット業界」

歴史上未曾有の東日本大震災から数ヶ月が経過しました。各種メディアで皆様も見聞きしているように、すさまじい被害を受けた地域は、まだまだ復旧の手前の段階です。津波の被害に加え、原子力発電所の問題が今回の災害を長期的なものにしています。JAIPAの会員の皆様も、直接間接を問わず、様々な被害を受けたことと思われまます。震災直後から停電を始め、物資の不足、行方不明者の捜索、被災地域内事業所の復旧、計画停電に対応する為の燃料確保等々。特に、北関東、東北の会員の皆様、そして被災地に支店、営業所等をお持ちの会員の皆様は、今だけでなく長期的な復旧作業が続くことでしょう。本当にご苦勞様です。

今回の災害で、様々な角度からインターネットがインフラであることが実証されました。被災地の状況をいち早く、そして正確に知る事が出来たのは、マスメディアからの情報ではなく、Twitterを始め、SNS、動画配信サービスがユーザに活用されたおかげでした。一方で、インターネットで混乱した情報が流布されたのも事実です。しかしこの国の制度は、インターネットがインフラであるとの認識が薄いと言うことが、今回の震災で露呈されました。北関東の会員では、計画停電対策の自家発電用燃料の確保に走り回りました。インターネット事業者に対して、優先的な燃料配給という制度が無いからです。また、東北の会員企業では、キャリアのネット回線が切断されたまま、復旧工事がままならず時間が過ぎていきました。これは固定電話から復旧させ、ネットは後回しにされたからだと推測しています。未だにネットインフラは、固定電話より優先順位が低く扱われているのです。

4月1日、総務省が放送、通信事業者団体を集め、これから夏に向かっての「節電」協力を訴えました。既に会員企業の皆様は、エコロジーの観点から消費電力を少なくする方向で動いているのですが、それに加えて尚一層節電に取り組んで欲しいとのことです。営業時間の短縮、夏期休暇の延長、設備の関東圏外への移動、そしてオイルショック以来の「電気事業法27条」発令もされました。

このような節電対応は私たちの業界でも行うことは吝かではありません。しかし365日、24時間安定的にインターネット網とその上のサービスを稼働させるのが、私たちの仕事であり、使命なのです。そして、他業種が時短や家庭待機を始めると、インターネットの各種サービス利用は間違いなく増加します。TV会議や動画、データ化した書類のやりとり、そして通常のメール。また企業の告知もインターネットが中心となり、それらを閲覧する消費者の延べ数も増えるでしょう。

つまり「様々な業界が節電に真摯に取り組むと、私たちの業界は、増加するインターネット利用者が、インターネットのサービスを安定的に利用できる様に管理運営しなくてはならない」のです。そうなると、設備や回線の増強等、インターネットサービスを支える

部分での節電は難しいと言わざるを得ません。

これらの諸問題を踏まえ ISP、ホスティング事業者を始め、様々なインターネットサービスは、もはや特別なものではなく、誰もが利用する情報インフラである事を、改めて行政を始め世の中に発信して行くことを 2011 年度 JAIPA の活動の中心にします。

そして情報インフラとしての役割を果たすと同時に、必要性を訴えていきます。現在私たちには様々な義務が課せられています。物理的な回線やサービスの安定運用はもとより、消費者対応、そして児童ポルノ、著作権侵害その他インターネット上のコンテンツに関しても、対応を求められています。それは社会が必要としているのでしたら、それなりの対応をすべきです。しかし、そのような義務が課せられているにもかかわらず、今回の東日本震災で分かった様に、それら義務を果たす為にも、それなりの権利が必要だということです。このような権利を訴え獲得していくことが、業界団体 JAIPA の役目であります。

## 部会活動計画

### 1. 行政法律部会

部会長	木村 孝	ニフティ株式会社
副部会長	野口 尚志	EditNet 株式会社
副部会長	吉井 一雄	NTT コミュニケーションズ株式会社

当部会では、ISP やホスティングサービス事業者に係わる法律上及び行政上の諸問題に対して、行政庁との連携や協会会員への情報提供などを活動の中心として参ります。

そして、事業者団体が中心になって活動をしている会議や、総務省主催の会議が多数有り、本部会の主要メンバーが参加していることから、昨年に引き続きそこでの活動を部会の皆様方にお知らせ、意見交換を行い、勉強会などを開催して行政等に意見をまとめて発信したいと考えております。当部会が取り組みたい案件は山積みになっておりますが、ぜひ皆様にもご参加いただき、ご意見やご提案をいただきたくご協力をお願いいたします。

#### 今後の活動予定

##### ■ 法律勉強会・意見交換会の開催

- ・児童ポルノのブロッキング問題など現行の法制度についての実務上の課題、現在取り上げられている案件についての検討状況報告と意見交換。講師を招いての勉強会も行う。

##### ■ 「インターネット上の法律勉強会」の開催

- ・各種イベント時に 1 年間の活動や問題点等を講演やパネルディスカッションを通じて、情報提供や議論を行うと共に JAIPA の活動を広く認知させる。

##### ■ その他の活動

- ・「プロバイダ責任制限法ガイドライン検討協議会」  
「著作権関係 WG」、「名誉毀損・プライバシー関係 WG」、「商標権 WG」、「発信者情報開示関係 WG」にそれぞれ参加。発信者情報開示関係においては、ガイドラインを策定
- ・政府知的財産戦略本部インターネット上の著作権侵害コンテンツ対策に関するワーキンググループ
- ・「電気通信事業分野におけるプライバシー情報に関する懇談会」
- ・「プロバイダによる本人確認の在り方に関する連絡会」
- ・「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」(CCIF)
- ・「電気通信サービス向上推進協議会」
- ・「違法情報等連絡会」
- ・「インターネットホットラインセンター運営協議会」

- ・インターネットコンテンツセーフティ協会
- ・「安心ネットづくり促進協議会児童ポルノ対策部会法的问题検討サブ・ワーキンググループ」
- ・「児童ポルノ流通防止協議会」
- ・その他、多数の会議に出席し、協会内での情報共有をしていく。

## 2. 地域 ISP 部会

部会長	晋山 孝善	ジェットインターネット株式会社
副部会長	鎌倉 忍	ディーシーエヌ株式会社
副部会長	高橋 佑至	株式会社ネットフォレスト

当部会は、地域で ISP を行っている事業者を中心として活動しています。当協会会議室で行っている月 1 回の部会では、遠方からも毎月多数参加していただき意見交換を含めた情報共有をしております。また、この部会に参加できないところでも積極的に参加できるように毎年 2~3 回の「ISP の集い」を開催し、毎月の会議で課題にあがったものを検討し、ディスカッションをして解決策を見出しております。集いではその開催地での問題点や新しい取り組み等を紹介していただき、常に各地域の情報交換を行っております。

NGN 接続に対する問題は、いまだに ISP を悩ませておりますが、IPv4 枯渇により、IPv6 以降をどうするのか、引き続き検討を行って行かなくてはならない課題です。昨年と同様に問題となる、児童ポルノ対策のためのブロッキングですが、3 月に「一般社団法人インターネットコンテンツセーフティ協会」が立ち上がり、4 月より大手をはじめ数社でブロッキングを開始しております。地域 ISP にとって、今後どのような展開になるのか、重要な案件となっております。今後も事業者に対する要求は増え、負担が増すことになりそうです。

JAIPA が参加している会議等の新しい情報を毎月の部会で説明、様々な方面で意見交換をして検討をしたいと考えております。その他にも毎月の会議にてそれぞれの会社の取り組みやインターネット上で話題になっているもの、現在問題になっているものをピックアップしてメンバーが講師をするミニ勉強会を今後も続けていきたいと考えております。集いとは別に「JAIPA ビジネスアライアンス」を開催、今年度も会員へのメリット、新規会員獲得へ向けて打ち出し、本年度更にステップアップした部会にしたいと思っております。

本年度も今までの活動を継続しつつ、さらに密度の濃い交流の場として「集い」やビジネスアライアンスを開催いたしますので、ぜひ皆様ご参加ください。

今後の活動予定

### ■ ISP の集い

- ・毎年行われている「ISP の集い」を行い、普段なかなか参加できない方々との情報交換と地域の問題などを検討する場所を提供し、かつ JAIPA の活動を知っていただき、新規会員の獲得にも努めてまいります。
- ・7 月に京都で集いを行う予定です。

### ■ 各種勉強会

- ・毎月、メンバーが講師を担当する「ミニ勉強会」の開催
- ・IPv4 枯渇や IPv6 対応。違法有害情報のフィルタリング対応に関連、各種重要案件の説明会、意見交換会の開催

### ■ 「技術交流分科会」と地域 ISP 部会との意見交換会

### 3. ホスティング部会

部会長	青山 満	GMOクラウド株式会社
副部会長	村越 裕之	コスモメディア株式会社
副部会長	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社

インターネットの日常社会への浸透が進み、利用者数の増加だけでなく、その利用形態も情報収集だけでなく、コミュニティへの参加、情報の発信など、幅を広げています。このような状況下において、ホスティング事業も急速な発展を続けており、サービスに対する要求もますます大きくなっています。

本年度は、毎年恒例となったビジネス交流イベント「HOSTING-PRO」などへの参加を通して、今後ホスティング事業者全体が考え、取り組んでいかなければならない課題や問題点を洗い出し、業界全体の更なる発展を目指したいと思っております。

加えて、部会参加企業に限らず、会員全体を対象とした勉強会を開催し、セキュリティの確保やサービスの安定的な提供、新しいサービスへの取り組みなどについて、ホスティングサービスの最新の情報を共有し、お互いのレベルアップと交流の促進を図っていきます。

ホスティング事業は、インターネットを提供する事業者（インターネットプロバイダー）の中でも、経済的にも顧客数的も大きな割合を占め、さらなる発展が見込まれる事業者でありながら、社会的な面での認知度はまだまだ小さいものであると言わざるを得ません。また、官庁の間での認識も低く、JAIPA がホスティング事業についての活動を行っているということも知られていません。いまだ遅れている法整備や税制などにもきちんと事業者としての意見を出すためにも、早期に解消すべき問題と考えています。

本年度は、ホスティング事業者の現在抱えている問題や今後の課題、経営的なこと、技術的なこと等を抽出して、協力をしながら解決に向けられればと思っております。また、一般の利用者への啓発活動にあたっては、省庁とも意見交換をしながら、引き続き行っていきます。様々なことに取り組んでいき、JAIPA 会員の方々が参加しやすいように、話題提供などもしていきます。ぜひ皆様、ご参加下さい。

#### 今後の活動予定

- ホスティング事業全般の現状分析、調査活動を行い、その状況を説明し、同時に一般への啓発活動を行う。
- ホスティング事業者向け勉強会の開催
- 「HOSTING-PRO」への参加

#### 4. インターネットユーザー部会（旧ユーザー利用促進部会）

部会長	<small>もちざい</small> 持麿 裕之	NEC ビッグロブ株式会社
副部会長	安江 律文	株式会社 NTT ぷらら
副部会長	青島 示路	ニフティ株式会社

ブロードバンド化やモバイル化は急速に拡大していますが、ISP ビジネスの市場全体はここ数年伸び悩んでいる状況です。若年層の間では携帯電話やスマートフォンの普及によりパソコンを使ってインターネット接続をしなくなっている傾向が見られます。また、インターネットによる様々なトラブルに巻き込まれる利用者が多くなってきていることが、インターネット離れのひとつの要因になっているようです。

当部会では、利用者がインターネットの便利さ楽しさなどを体験できるとともにインターネットを活用する上でトラブルに巻き込まれないよう利用者のリテラシーを向上させる啓発活動が重要であると考えています。また、消費者保護強化の動きに対応して、総務省や業界団体で消費者対応に関する議論が活発に行われています。部会内で、インターネット利用に関する苦情相談内容の現状、消費者への情報提供の在り方、消費者支援の在り方等について意見交換・情報収集を行い、利用者のリテラシー向上施策の内容見直しを行っていきます。

今後は、「消費者対応に関する WG」の取り組みを引き継ぎ、消費者対事業者、消費生活センター対事業団体と、消費生活センター他関連団体と事業者団体が共同で消費者サポートを行うような体制に持って行きたいと思っております。他部会との交流も含め、勉強会を行い会員相互の情報交換の場をもっと設けられるようにしていきます。

インターネットのさらなる発展のため、このような活動にご興味のある方、同じ問題意識を持たれている方のご参加をお待ちしております。

##### 今後の活動予定

- 利用者（消費者）対応に関する活動
  - ・ 「消費者対応に関する WG」の活動を引き継ぐ。
  - ・ 消費者保護強化の動きに対応して、消費生活センター・関連団体と連携強化。
  - ・ 消費生活センター他関連団体と事業者団体が共同で消費者サポートを行う体制の構築。
- インターネット利用促進

インターネットの利用動向調査レポート等を参考に、インターネットの利用促進を目的とした意見交換や情報収集を行い、より多くのユーザーへの利用拡大に必要な条件を抽出して対応策を検討。また、利用者がインターネットの便利さ楽しさなどを体験できるとともにインターネットを活用する上でトラブルに巻き込まれないよう利用者のリテラシーを向上させる啓発活動。
- インターネットのさらなる発展のため部会員および協会員が興味のあるもしくは、現

在注目されている技術やサービスに関する勉強会を適宜開催し、多様なサービスや新たなビジネスモデルの開拓・展開に寄与していく。他部会との交流や情報交換。

以上



## 5. 情報セキュリティ部会

部会長	秋山 卓司	クロストラスト株式会社
副部会長	立石 聡明	有限会社マンダラネット
副部会長	宇井 隆晴	株式会社日本レジストリサービス

インターネット関連分野の発展が目覚しい中、個人情報漏洩、フィッシング詐欺、重要なシステムの予期せぬ停止等が、重要な問題として認識されるようになってきました。プライバシー情報をはじめとする情報資産を預かり、またはそれら情報の流通にかかわる業者の立場から、安全・安心なネットワーク社会の実現を通して顧客の信頼と期待にこたえていくことが我々インターネットプロバイダーとその関連業界の重要な責務であると考えます。

その一方で、社会全体の情報セキュリティの確保には、我々業界の取り組みだけではなく、関連省庁および外郭団体等をはじめとする他団体との協調・協力が不可欠であり、当部会はそれらに対する窓口としても、活動を広げてまいりたいと思っております。

本年度は、フィッシング、迷惑メール対策として、フィッシング対策協議会へ参加をしたことから、メールの送信者認証の現状に関する調査及び普及啓発活動に取り組みたいと考えます。IPv6に関するセキュリティや、フィッシングに代表されるネット犯罪・悪用への対策も視野に入れ、今年で第5回となるインターネット関連5団体の共催イベントである「SecurityDay」の開催をはじめとして、事業者として望まれる情報セキュリティに関する専門知識の向上と情報交換、および啓発活動を目的として活動したいと思います。

### 今後の活動予定

- ネットの脆弱性に関する勉強会の開催
- 安全・安心マーク推進協議会へのフォロー
- メールを送信者認証に関する普及啓発と現状調査
- フィッシング対策協議会への参加
- NGN と IPv6 のセキュリティに関する検討
- SecurityDay の開催（インターネット関連5団体による共催）
- 他団体との連携による情報セキュリティに関する取り組み
- その他情報セキュリティ関連の勉強会の開催

## 6. 女性部会

部会長	佐々木 洋子	フュージョン・コミュニケーションズ株式会社
副部会長	栗林 真由美	ニフティ株式会社
副部会長	松本 さやか	NTT コミュニケーションズ株式会社

女性部会では、定期的に勉強会や見学会を行っております。この部会設立当初の基本方針を下記にあげました。いつの日かこれも出来ている、あれも出来た。というような体制になれば良いと思っております。出来ることはすぐに取り組み、出来ないことはじっくりと取り組み出来るように努力する。会員相互の意見交換や情報交換は最も大事な事です。また他事業者との交流も積極的に行い、スキルアップも目指したいと思っております。今後も、「人と人とのつながり」を大切にしながら、女性部会として「やらなければいけないこと」、「私達だからこそ出来る事」をメンバー同士で充分に討議し、活動につなげたいと思っております。

「女性部会」という名前が参加しづらい面もあるかと思いますが、男性の方々からの意見も大いにお聞きしたいと思っております。ぜひ皆様ご参加下さい。

### 活動目的・今後の活動予定

- インターネットユーザー（特に女性、子供）の利用拡大、より良い環境の整備、社会へのPR および啓発
  - ・正しいセキュリティ知識の啓発
  - ・お母さんと子供を対象にしたPC/携帯のリテラシー向上、インターネットの啓発活動（次世代ユーザーの育成）
- インターネットを通じた社会での女性の活躍の推進
  - ・働く女性の支援・・・ワークライフバランスとインターネットなどのテーマで講演会やパネルディスカッションなど
  - ・女性起業家（自宅起業含む）の支援・・・インターネットを活用した起業のガイドライン、HP作成支援など
  - ・世の中への啓発活動「Web2.0は女性の味方」「介護とインターネット」「子育てとインターネット」など
- 上記を実現するための政策等への諮問、調査、提言
  - ・アンケートを実施し、集計分析を「女性インターネット白書」などに
  - ・インターネットを活用した在宅勤務の促進
- 女性業界人ならではの活動
  - ・ユニセフ、ピンクリボン、フォスタープラン他、社会貢献活動への協力
  - ・IT業界の女性の環境、健康、家事の両立
- インターネット業界の女性達の親睦、情報交換
  - ・互いの問題や悩みを共有化して解決
  - ・会社組織の枠組みを超えて議論 ⇒ 各会社組織へのフィードバック
  - ・ブログなどによる情報共有と情報発信

- 勉強会・見学会
- 部員が持ちまわりで、企業・業務紹介も兼ねたミニ勉強会を開催
- インターネットに関わる、社会貢献活動
- 他の部会との交流。女性部会として他部会への積極的な協力